2023年7月27日 専門家会議運用改善等ワーキング

# 社会福祉士会報酬受領に関する報告

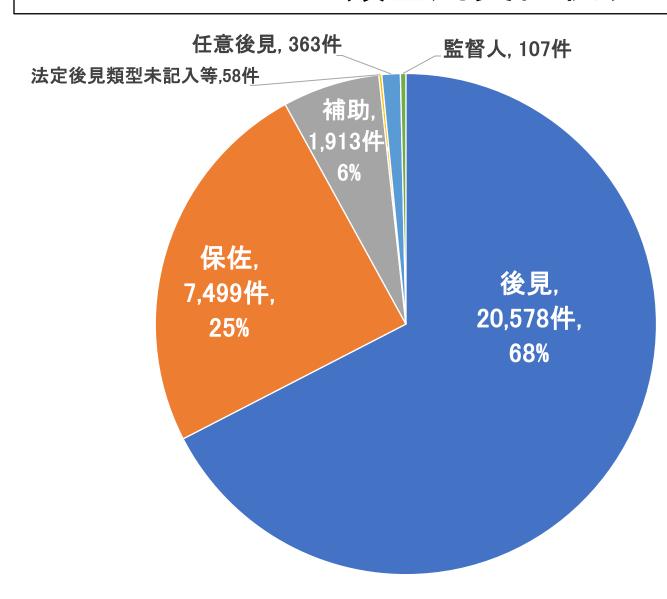
2022年2月ぱあとなあ活動報告書に基づく 受任状況集計結果より

公益社団法人日本社会福祉士会

## 本資料の説明

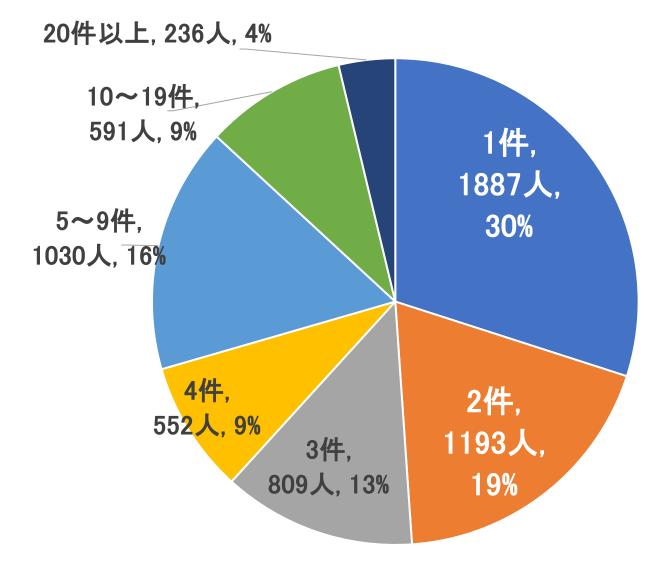
- 2022年1月末日現在に受任中の30,518件について、受任者6,298人から提出された「2022年2月ぱあとなあ活動報告書」(様式は別紙資料参照)の集計結果に基づくものである(一部項目で経年変化をみるため過去のデータを用いた)。
- 会員個人が所属都道府県社会福祉士会に活動報告書を提出、都道府県社会福祉士会がとりまとめ日本社会福祉士会にデータが提出され、全国の社会福祉士の受任状況を把握する目的で、日本社会福祉士会が毎年公表している。
- スライド7及び8の最高裁資料とは、令和5年2月21日に開催された成年後見制度利用促進専門家会議第3回成年後見制度の運用改善等に関するワーキング・グループ配布資料、資料2-2 最高裁判所資料「報酬実情調査の集計結果資料」である。対象者や調査方法が異なるため単純な比較はできないが、関連項目の考察に用いた。

## 会員個人による受任等の状況 類型別受任状況



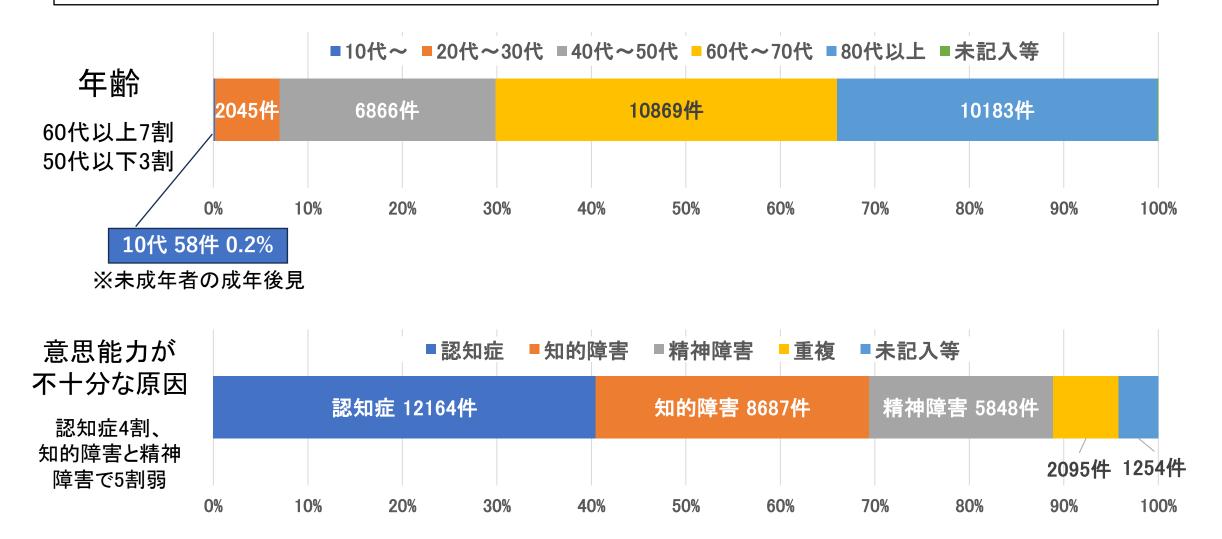
受任件数合計30,518件のうち 法定後見受任件数が30,048件で、 全体の約99%をしめる

### 会員個人による受任等の状況 個人別受任件数

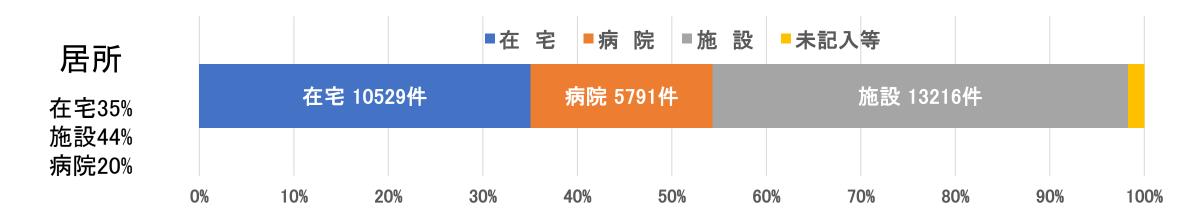


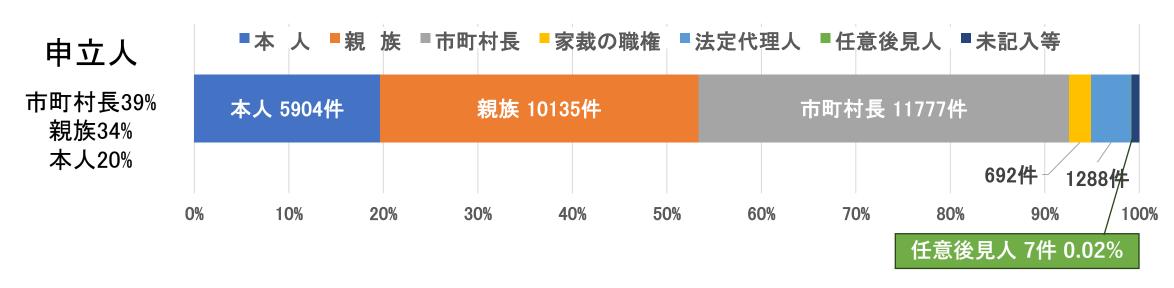
受任者合計6.298人のうち、 受任件数1件と2件で約半 数をしめる

## 法定後見受任状況 本人の状況

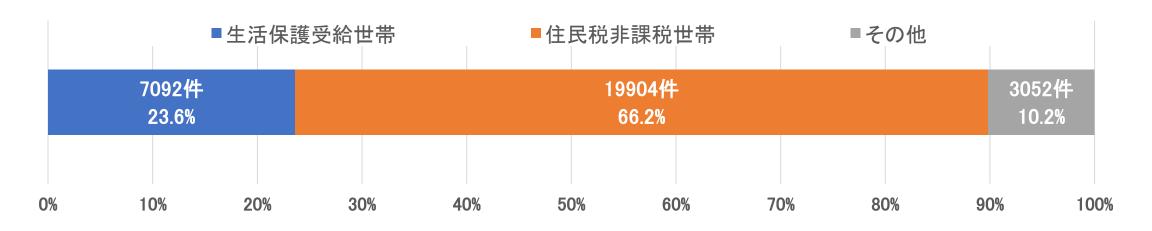


## 法定後見受任状況 本人の状況

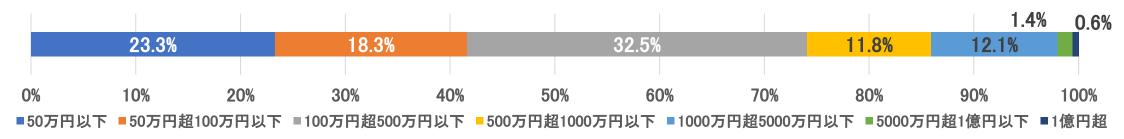




## 法定後見受任状況 本人の資産状況

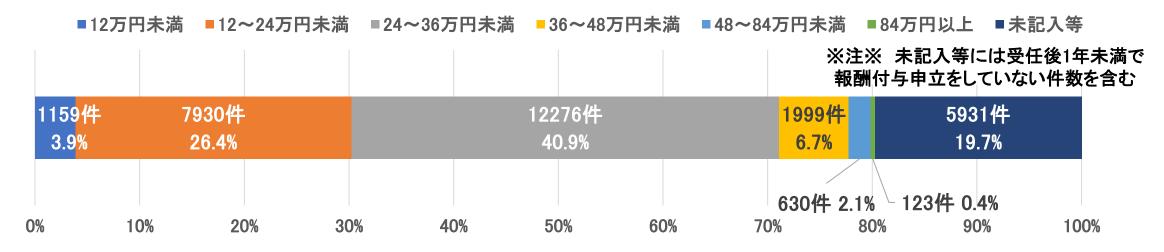


#### <参考>最高裁資料③-3 流動資産額別割合(本人との関係別)より社会福祉士のデータを抜粋して作図

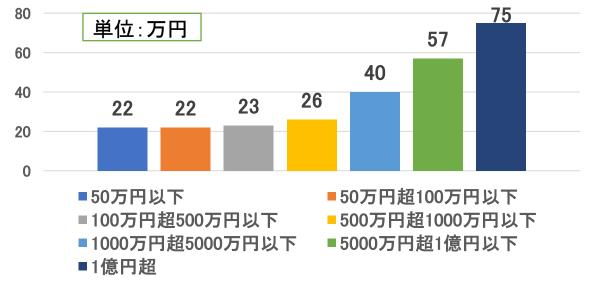


課税状況と流動資産額は必ずしも連動するものではないが、流動資産額が100万円以下が4割強であり、本人資産から報酬受領が困難なケースが一定数あることが推測される。

## 法定後見受任状況 報酬審判の金額(本会報告書では月額平均を記載のところ年額に換算して作図)



<参考>最高裁資料⑦-1 本人との関係別報酬額平均(流動資産額別)より 社会福祉士全体のデータを抜粋して作図(金額は千円を四捨五入)



- ・本会データは、報酬付与申立をして審判がおりた金額であり、実際に受領した金額ではない。報酬審判金額24万円未満が3割強をしめる。
- ・最高裁資料では、本人流動資産額が50万円以下、50万円~100万円でも平均22万円の審判がおりている。
- ・報酬を受領した場合、本人資産から受領したのか、成年後見制度利用支援事業を利用したのか、全額受領できたのかは、さらなる精査が必要である。

### 法定後見受任状況 報酬の受領と成年後見制度利用支援事業の利用状況

#### 報酬の受領

全額未受領 1464件(4.9%)

一部未受領 1954件(6.5%)

3418件(11.4%)が報酬を全額または一部未受領

#### 成年後見制度利用支援事業の適用

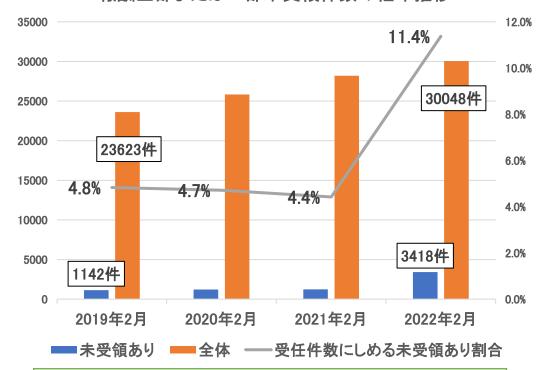
申立経費 1155件(3.8%)

報酬助成 3818件(12.7%)

両方受けている 605件(2.0%)

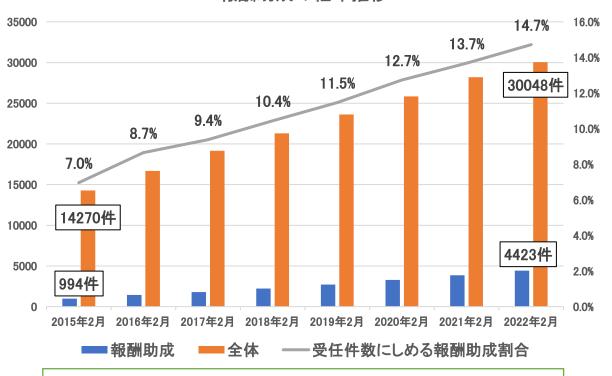
4423件(14.7%)が報 酬助成を受けている

#### 報酬全部または一部未受領件数の経年推移



報酬未受領ありは4%台から11%台に急増した。4年間で受任件数は1.3倍のところ、未受領ありは約3倍になった。

#### 報酬助成の経年推移



8年間で受任件数は2.1倍のところ、報酬助成を受けているのは4.4倍になった。全体にしめる割合は7%から14.7%に倍増した。

## 今後へ向けて

- 第二期成年後見制度利用促進基本計画に基づく「適切な報酬の算定に向けた 検討及び報酬助成の推進等」に資するため、本会としてもさらなる実態把握の 必要性を認識している。
- ・報酬申立の有無(無しの理由)、報酬審判額、報酬受領の有無(無しの理由)、 報酬は本人資産から受領したのか、成年後見制度利用支援事業等を利用した のか、報酬審判額を全額受領できたのかなど、継続して調査を行い、適切な実 態把握に努めなければ、しかるべく方策の検討につながらないと考える。
- 上記調査項目は、家庭裁判所の定期報告書にも盛り込むなどして、全国的な実態が適切に把握されるよう期待したい。
- ・成年後見制度利用支援事業は行政による差が拡大している。これまでの議論でもさらなる実態把握と課題の抽出が必須であるとの指摘があったが、市町村の努力に委ねる対応でよいのか、抜本的な見直しも検討すべきである。どの地域であっても制度が必要な人が報酬負担がネックとなって制度利用につながらない現状をなくすことが肝要である。

活動報告・参考様式2 年 月報告用

#### 個別報告 1-1

【成年後見人等】	] 受任者は毎	回記入ください		報告日:	年	月	日
報告者	受講者番号		都道府県士会				
(成年後見人等)	氏 名						

1、柞	既要	(毎回記入・	<	ださい・	デー	ター~	ベーフ	く項目	( )
-----	----	--------	---	------	----	-----	-----	-----	-----

<u>1、概要</u> (毎	回記入ください・データ―ベース項目)					
ケース番号	No. (※「(受講者番号) - (ケース番号)」とし、 前回報告と同じ番号を使ってください)					
報告種別	1□新       規       終了・辞任の年月: (西暦)       年       月         2□定       期       引き継ぎ完了の年月: (西暦)       年       月         3□終       了       4□引継完了       (終了・辞任の理由       (終了・辞任の理由       )         支代の場合       前任後見人等: (親族・専門職( )・市民・法人・その他( ))       )					
	性 別 1□男性 2□女性 年 齢 歳代 前半・後半					
本人について	1□認知症高齢 3□精神障害 判断能力の障 2□知的障害 4□その他( ) 害 の 種 別 要介護度もしくは長谷川式スケール、障害程度区分					
	現 在 の 居 所 $1\Box$ 在宅( <u>独居</u> ・家族と同居・グループホーム・ <u>サービス付高齢者向け住宅</u> ) $2\Box$ 病院 $3\Box$ 施設( <u>有料老人ホーム含む</u> ) $4\Box$ その他(					
	<ul><li>資産状況</li><li>※本人(個人)の</li><li>資産状況</li><li>3□その他(</li></ul>					
申 立 に つ い て	1□本人 2□親族(本人との関係: ) 3□市町村長(市長より権限を委譲された区長を含む) 申 立 人 4□家裁の職権 5□法定代理人(後見人等) 6□任意後見人 7□その他( )					
	<ul><li>鑑定 書 1□有り(鑑定料 円、□不明)</li><li>の□なし 2□不明</li></ul>					
	家 裁 家裁 支部 (支所)					
	審 判 確 定 年 月 (西暦) 年 月					
審 判 に つ い て	1□成年後見 類 型 2□保佐 3□補助					
	複数後見   1□有り 【(複数後見の相手: )   0□なし (事務分掌の有無:□なし □有り: )   1□有り					
	後見監督人 0□なし 1□有り(監督人の職業: )					
報酬について	1□報酬付与申立をした( <u>西暦) 年 月</u> (直近の付与額を下記に記入)   2□報酬付与申立をしたことがない(その理由を下記に記入)   1□受任後一年未満である   2□被後見人等が資力に乏しく報酬が期待できない   3□兼業禁止規定との兼ね合い等の職場の事情で申立ていない   4□その他(具体的に: )					
	直近の付与額     月額平均 □1 万未満 □1 ~ 2 万未満 □2 ~ 3 万未満 □3 ~ 4 万未満 □4 ~ 7 万未満 □7 万以上					
	報酬の受領					
成年後見制 度利用支援 事業等の 利用状況	□成年後見制度利用支援事業の適用を受けている 「1□①申立経費の助成を受けている (□求償あり・□求償なし) 2□②報酬助成を受けている(金額:月額 円) 3□成年後見基金の適用を受けている(金額:月額 円)					
備考						

活動報告・参考様式2 年 月報告用

#### 個別報告 1-2 報告者氏名

#### ケース番号 No.

#### 2、申立~選任の経緯 初回報告のみ記入ください

①本人の氏名、住所地、利用施設(機関)、援助者等の氏名、所属先名称等の固有名詞は、原則として無作為のアルファベットで表記し、個人、地域、施設等が特定されることのないように記載してください。

申立理由・経緯	
選任時の本人	
の状況	
	中央など家型はつの期間、約 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	申立から審判までの期間:約 ヶ月(交代の場合は記載不要)
選任の経緯	<u>□家裁からぱあとなあへの依頼</u>
選任の経緯	
選任の経緯	□家裁からぱあとなあへの依頼 □中核機関・関係機関からぱあとなあへの依頼
選任の経緯	□家裁からぱあとなあへの依頼 □中核機関・関係機関からぱあとなあへの依頼 □中核機関等からの直接の依頼
選任の経緯	□家裁からぱあとなあへの依頼 □中核機関・関係機関からぱあとなあへの依頼
	□家裁からぱあとなあへの依頼 □中核機関・関係機関からぱあとなあへの依頼 □中核機関等からの直接の依頼
選任の経緯 後見計画	□家裁からぱあとなあへの依頼 □中核機関・関係機関からぱあとなあへの依頼 □中核機関等からの直接の依頼
	□家裁からぱあとなあへの依頼 □中核機関・関係機関からぱあとなあへの依頼 □中核機関等からの直接の依頼
後見計画	□家裁からぱあとなあへの依頼 □中核機関・関係機関からぱあとなあへの依頼 □中核機関等からの直接の依頼
	□家裁からぱあとなあへの依頼 □中核機関・関係機関からぱあとなあへの依頼 □中核機関等からの直接の依頼
後見計画	□家裁からぱあとなあへの依頼 □中核機関・関係機関からぱあとなあへの依頼 □中核機関等からの直接の依頼
後見計画 代理権・取消権 の内容	□家裁からぱあとなあへの依頼 □中核機関・関係機関からぱあとなあへの依頼 □中核機関等からの直接の依頼
後見計画 代理権・取消権 の内容 (※補助、保佐	□家裁からぱあとなあへの依頼 □中核機関・関係機関からぱあとなあへの依頼 □中核機関等からの直接の依頼
後見計画 代理権・取消権 の内容	□家裁からぱあとなあへの依頼 □中核機関・関係機関からぱあとなあへの依頼 □中核機関等からの直接の依頼

ケース番号 No.

3、本人の状況および後見活動の内容(毎回記入ください) (該当項目にチェックが入った場合は必ず具体的状況を記載してください)

	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				
本人との面会の	実施回数は、	(月1回の面会が困難な場合、工夫している点を記述)			
頻度について					
	過去6か月間に()回				
本人の心身状	心身状況で気になることが	(ある場合は、以下に具体的内容と対応方法を記述)			
況について	1□ある				
2->1-15->>	2□ない	(クセス 本私 いと と 日 人 ) 、 本私 田 ト とう(4)			
経済状況につ	収支は	(多額の変動があった場合は、変動理由を記述)			
いて	1□黒字である				
	2□ぎりぎりである				
+11 +1 +1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	3□赤字である	(状況を記述)			
報告者と本人と	本人との関係に、	(4人/几を記述)			
の関係について	<u>1□課題がある</u>				
	2□課題がない 3□その他(意思疎通が困難等)				
報告者と親族と	親族との関係に、	(状況を記述)			
の関係について	1□課題がある				
AND NICE - 1	2□課題はない				
	3□その他 (いない場合等)				
報告者と関係機	関係機関との連携や調整に、	(状況を記述)			
関等との連携・	1□課題がある				
調整について	2□課題はない				
	<u>3□その他</u>				
家裁への報告	直近の報告年月 (西暦)	(1年以上報告していない場合、以下に理由と今後の			
状況について		報告予定を記述)			
	年 月	() (			
その他、活動上	都道府県士会ぱあとなあに対	(ある場合は、以下に内容を記述)			
の課題	して、後見活動上の疑問点や				
	質問が				
	1□ある				
《生性の生不	2□ない	(状況を記述)			
<u>災害時の安否</u> 確認	① <u>被後見人の指定避難先の</u> 把握 1□有 2□無	(状況を記述)			
<u>1/住 页                                   </u>	<u>元隆 10年 20無</u>  ② 自治体の避難行動支援者				
	登録 1□有 2□無				
	③ <u>後見人等が支援できない</u>				
	ときの援助者の確保				
	1□有 2□無				
		こと)の計画・内容 <u>、本人の意思決定支援に関する取組</u>			
※必ず記入してく	· · - <del>-</del>	20 1 67/4. 1 71 2 68/20 c. 11 27			
※終了報告の場合は終了事務の報告、辞任の場合は辞任に至った経緯と引き継ぎの状況 ※代理権・同意権に変更があった場合は変更内容を記述ください					
↑ N 生催 * 同 息 fi	まに及文がありりに物日は及文F1日で LL.	近 / JC G v ·			